

シンポジウム 9月29日(土) 13:00～

I 落葉果樹における結実安定の新戦略(公開シンポジウム) (会場定員173名)

コンビーナー：農研機構果樹研究所

別所 英男

1. リンゴ園における受粉専用品種の利用
長野県農政部農業技術課 小松 宏光
2. リンゴにおける花器官の変異と単為結実の関係
農研機構果樹研究所 和田 雅人
3. ニホンナシにおける自家和合性及び自家摘果性育種の現状と将来展望
農研機構果樹研究所 澤村 豊
4. ウメの自家不和合性の機能解析と分子マーカーの開発
京都大学大学院農学研究科 羽生 剛
5. キウイフルーツの溶液受粉技術と他の果樹への応用
愛媛県立果樹試験場 矢野 隆

II 植物生殖機構とその園芸への利用(公開シンポジウム) (会場定員221名)

コンビーナー：鹿児島大学農学部

岩井 純夫

1. 植物受精の瞬間をとらえる
名古屋大学大学院理学研究科 東山 哲也
2. 胚発生の分子機構
岩手大学農学部 津和本 亮
3. 未受精および偽受精の雌性配偶子からの半数体誘導
日本たばこ産業(株)植物イノベーションセンター 加藤 紀夫
4. アポミクシスによる育種的利用を目指して
農研機構野菜茶業研究所 小島 昭夫

III 園芸作物における分子進化学と分子系統樹の重要性(公開シンポジウム) (会場定員169名)

コンビーナー：福井県立大学生物資源学部

大城 閑

1. 悩ましい生物を対象とした系統解析の方法と実践
甲南大学理工学部 本多 大輔
2. ニホンズイセン(*Narcissus tazetta* var. *chinesis*)の地理的変異
福井県立大学生物資源学部 大城 閑
3. 春咲きグラジオラスの系統分類とボタンの品種分類
島根大学生物資源科学部 細木 高志
4. グラジオラス野生種の系統樹から推察される類縁関係と交雑育種への利用
茨城県農業総合センター生物工学研究所 鈴木 一典

IV 地域産品の活用による地域活性化の状況(公開シンポジウム) (会場定員221名)

コンビーナー：農研機構果樹研究所

小川 一紀

1. 埋もれていた沖縄の宝、「シークワサー」の歩みと未来
琉球大学農学部 和田 浩二
2. ジャバラはどのようにして知られるようになったか
和歌山県農業総合技術センター果樹試験場 中地 克之
3. 地球温暖化に着目したブラッドオレンジ栽培は何を目指すか
愛媛県立果樹試験場 高木 信雄
4. ビワ葉とチャ葉が出会った時何が起きたか
長崎県果樹試験場 林田 誠剛
5. 園芸研究における研究費の受益者負担は可能か
農研機構生物系特定産業技術研究支援センター 矢野 昌充